



岩手・宮城内陸地震

奥州市に



給水バケツリレー (衣川小学校)



避難所での健康チェック (北股地区センター)

岩手・宮城内陸地震 被害調査特別委員会を設置

6月14日午前8時43分ごろ、岩手県内陸南部を震源とした巨大地震「平成20年岩手・宮城内陸地震」が発生し、奥州市に非常に大きな被害をもたらしました。

奥州市議会は6月定例会中ではありましたが、災害対策本部が設

置されたことに伴い直ちに休会とし、同16日午後より被害の大きい衣川区ならびに胆沢区の状況を視察いたしました。

その後議会が再開された6月23日、全議員による「岩手・宮城内陸地震被害調査特別委員会」を設置し、委員長には高橋勝司委員、副委員長には今野裕文委員を選出しました。

議会最終日には激甚災害指定、災害復旧と防止のための公共事業予算の大幅増額、被災者の生活再建及び住宅再建を支援する「被災者生活再建支援法」の適用要件の緩和を求める意見書を内閣総理大臣はじめ衆参両院議長並びに関係各大臣へ提出することを可決しました。

今後、衣川・胆沢区の全議員とその他の区より選任された12人の幹事を中心に調査活動が行われることになります。